

交流・定住の促進により、南部地域・東部地域を、頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域にします。

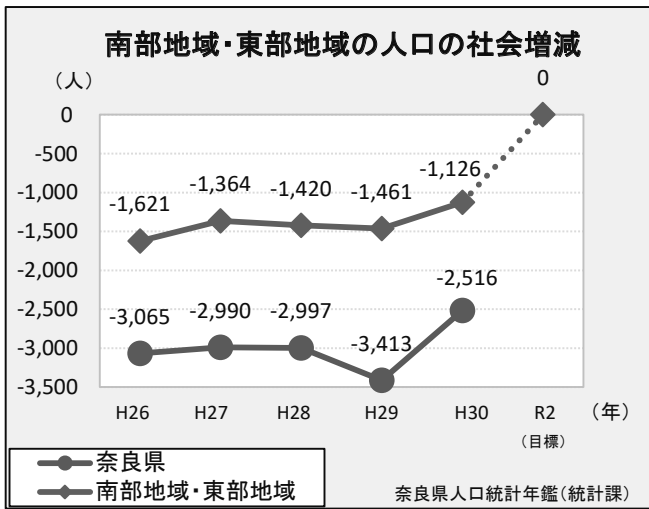
# 頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる南部地域・東部地域の振興

## 目指す姿

令和2(2020)年度までに、南部地域・東部地域の人口の社会増減をプラスにします。

主担当部局(長)名  
南部東部振興監 前阪 祥弘

### 1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

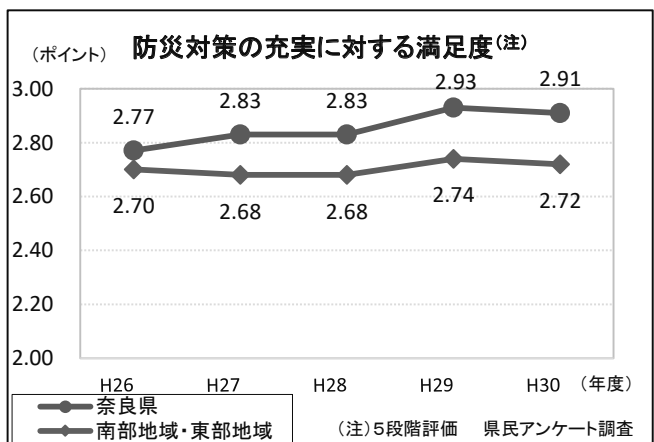
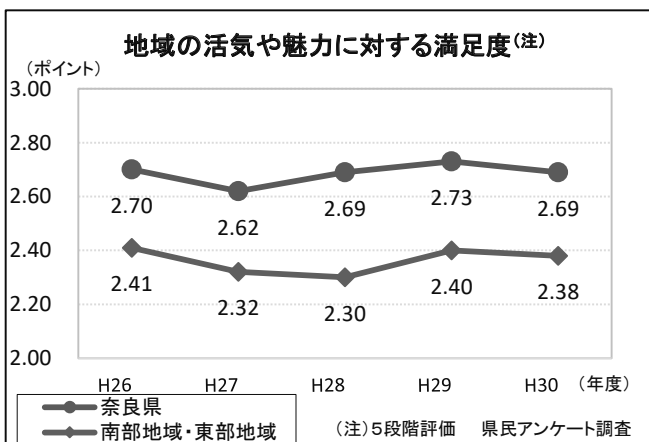


南部地域・東部地域の人口の社会増減(人)					
指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	▲1,621	↗	▲1,126	基準値を上回っています	R2までに社会増減をプラス
	H26 (2014)	495 人	H30 (2018)		

進捗状況

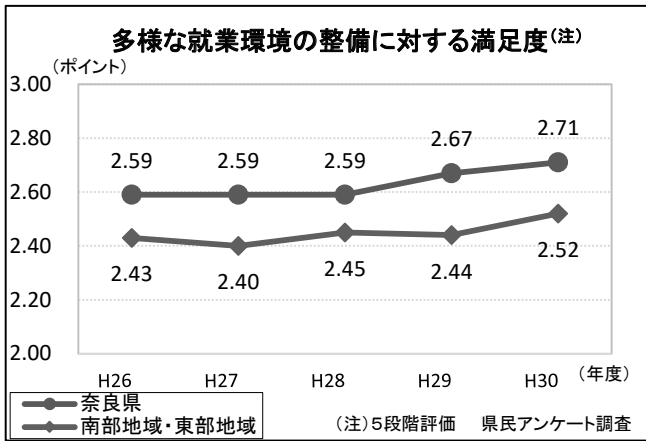
平成30年は、奥大和移住・定住連携協議会による移住相談ワンストップ窓口担当者研修会の実施や移住促進施設整備事業によるモデルプランの作成等、二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備や、移住者の働く場の確保に取り組んだことにより、南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,126人の減となり、基準年である平成26年の1,621人減から495人改善しました。

### 2. 現状分析

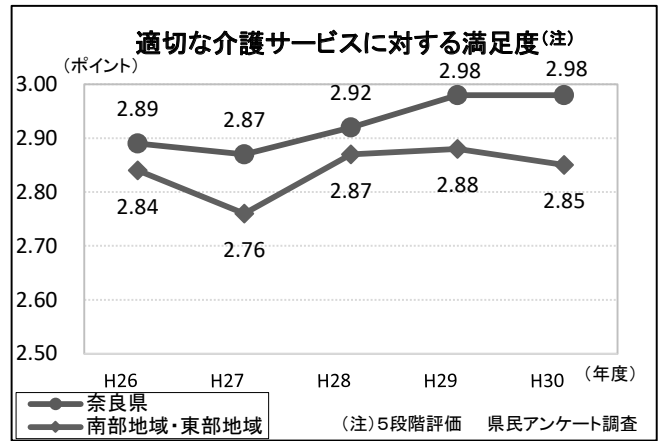


地域の活気や魅力に対する満足度は、平成26年度以降ほぼ横ばいです。(→戦略1)

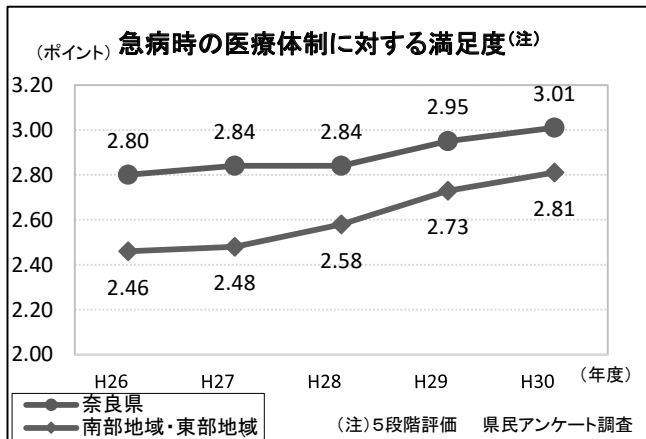
地震や台風、豪雨等の被害があり、平成30年度の満足度は平成29年度より減少しました。災害に強いインフラづくりの推進等による防災対策の充実が求められています。(→戦略2)



雇用の掘り起こしとマッチング支援や女性・高齢者の就業支援等により、多様な就業環境の整備に対する満足度は増加しています。(→戦略2)



平成30年度の適切な介護サービスに対する満足度は、平成29年度より微減となっています。(→戦略2)



地域医療提供体制の整備が進みつつあること等により、急病時の医療体制に対する満足度は増加しています。(→戦略2)

### 3. 平成29年度の評価及び平成30年度の取組等を踏まえ、令和元年度に向けて見直した内容

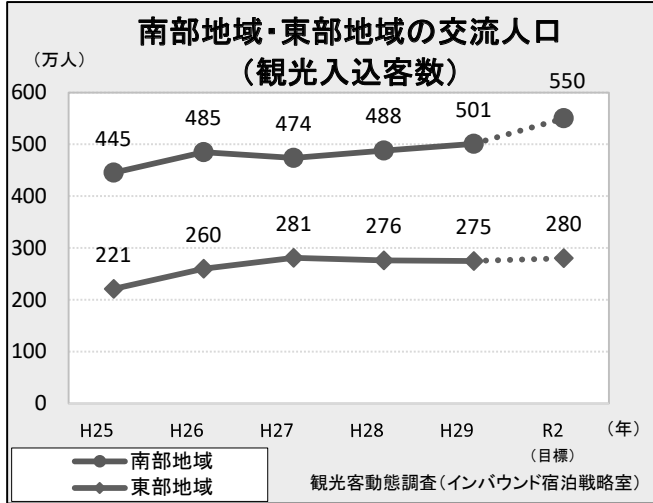
南部振興計画・東部振興計画で掲げている「住み続けられる地域づくり(定住の促進)」を実現させるためには、新たな雇用を生み続ける仕組みづくりが必要です。そのための施策としては、起業家やフリーランスを呼び込む施策が有効であり、それらの人材が集まる拠点を つくることで、つながりが生まれ移住につながると考えています。令和元年度は、その拠点づくりの実験・検討を行います。

#### 4. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1	南部地域・東部地域での交流を促進します。
-----	----------------------

主担当課(長)名
南部東部振興課長 米田 学 奥大和移住・交流推進室長 福野 博昭

#### 戦略目標



指標①	南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)(万人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	666	↑	776	67.1%	830
	H25 (2013)	110 万人	H29 (2017)	$\frac{4}{7}$ 年目	R2 (2020)
進捗状況	奥大和地域の特色を活かしたスポーツ、音楽・芸術イベントの開催や、大手旅行誌・鉄道会社と連携したプロモーションなど観光誘客、情報発信に取り組んだことにより、平成29年の南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)は776万人と平成25年より110万人増加しました。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
② 南部地域・東部地域の交流人口(延べ宿泊者数)(万人)	特色ある観光基盤の整備などに取り組みましたが、相次ぐ台風の上陸や天候不順等が要因となり、基準値から3万人減少しました。	63	↓	60	▲42.9%	70
		H25 (2013)	3 万人	H29 (2017)	$\frac{4}{7}$ 年目	R2 (2020)
③ スポーツ・芸術イベント参加者数(南部地域・東部地域)(人)	平成30年度は、特色あるスポーツ・芸術イベントの開催に取り組んだことにより、参加者数は基準値から1,755人増加しました。	1,560	↑	3,315	28.6%	7,700
		H25 (2013)	1,755 人	H30 (2018)	$\frac{5}{7}$ 年目	R2 (2020)

#### 主な取組指標等

南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信(①、②、③)	実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり(①、②、③)	災害に強いインフラの整備(①、②、③)
移住サイト「奈良に暮らす」アクセス件数(件)	「うだ・アニマルパーク」への入場者数(人)	完了宣言箇所の供用箇所数(南部地域・東部地域)[累計](力所)
492,453	214,910	3
↓	↑	↑
473,263	216,380	25
H26 (2014)	H26 (2014)	H26 (2014)
3.9 %	0.7 %	22 力所
H30 (2018)	H30 (2018)	H30 (2018)

#### 目標達成に向けた成果

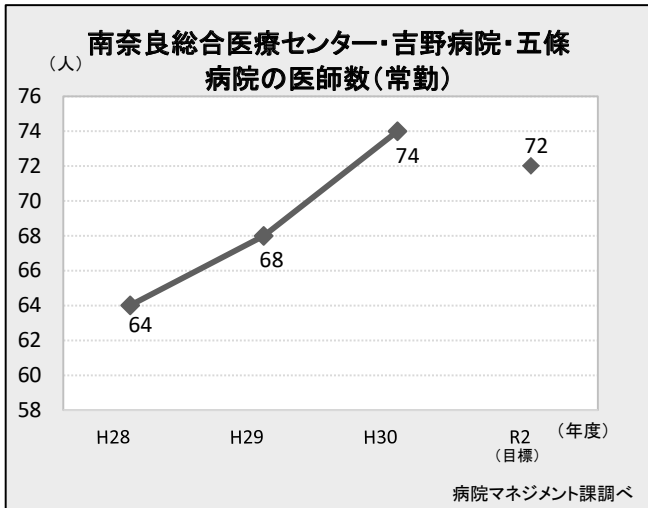
平成30年12月に県道古瀬小殿線朝町工区(御所市)が部分供用、平成31年3月に国道309号車坂工区(大淀町)が完成供用しました。(①)

平成30年6月～9月、12月～平成31年3月に、近畿日本鉄道と連携し、奥大和地域の魅力を発信する観光ツアーを5町村で実施しました。(①、②)

戦略2	南部地域・東部地域での定住を促進します。
-----	----------------------

主担当課(長)名	
南部東部振興課長 米田 学	
奥大和移住・交流推進室長	
福野 博昭	

**戦略目標**



南奈良総合医療センター、吉野病院、五條病院の医師数(常勤)(人)					
指標①	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	64	↑	74	125.0%	72
	H28 (2016)	10人	H30 (2018)	$\frac{2}{4}$ 年目	R2 (2020)
進捗状況	平成30年度は、新たに南奈良総合医療センターで5人、五條病院で1人が常勤医師となったため、実績値は74人となり、目標を2年早く達成しました。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
② 移住促進施設の整備箇所数[累計](カ所)	平成30年度は1カ所のモデルプラン策定が完了し(今年度整備予定)、基準値から整備箇所数の累計は9カ所増加しています。	7	↑	16	32.1%	35
		H27 (2015)	9カ所	H30 (2018)	$\frac{3}{5}$ 年目	R2 (2020)
③ 国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率(%)	国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率について、基準値から7ポイント上昇し、17%となりました。	10	↑	17	78.9%	19
		H26 (2014)	7ポイント	H30 (2018)	$\frac{4}{6}$ 年目	R2 (2020)

**主な取組指標等**

働く場所づくり(①、②)		
「奈良の柿」販売額(百万円)		
3,665	↓	3,430
H26 (2014)	6.4%	H30 (2018)

働く場所づくり(①、②)		
県産材利用住宅への助成件数(件)		
70	↑	224
H26 (2014)	3.2倍	H30 (2018)

災害に強いインフラの整備(③)		
先行的保全施設(避難所や要配慮者利用施設)への土砂災害対策着手率(%)		
68	↑	89
H26 (2014)	21ポイント	H30 (2018)

**目標達成に向けた成果**

平成31年2月に国道168号長殿道路(十津川村)の工事が着手されました。(③)

## 5. 令和2年度に向けた課題の明確化

### 目指す姿(再掲)

令和2(2020)年度までに、南部地域・東部地域の人口の社会増減をプラスにします。

#### <奈良県の持っている強み>

- 1 豊かな自然環境、おいしい空気や水
- 2 豊かな森林資源、吉野材ブランド
- 3 地域の住民の絆が強い
- 4 世界遺産をはじめとする豊富な歴史・観光資源
- 5 京奈和自動車道の供用区間延伸
- 6 情報通信基盤の充実
- 7 南部・東部の魅力浸透等による観光入込客数の回復

#### <奈良県の抱えている弱み>

- 8 産業用地の不足
- 9 人口減少と高齢化による活力低下
- 10 若者の就業の場の不足
- 11 農林業等地域産業の衰退
- 12 医師の確保が困難
- 13 路線バスの休廃止・減便の進行
- 14 日常生活サービスの脆弱化

#### <奈良県への追い風>

- a 国の経済政策による景気回復傾向
- b 国による国土強靱化の推進
- c 「住みたい」「住み続けたい」意識の高さ
- d 多様なライフスタイル指向の高まり
- e 国による地方創生の動き
- f 京奈和自動車道大和北道路及び国道168号五條新宮道路新天辻工区の平成30年度新規事業化が決定。

#### <奈良県への向かい風>

- g 人口減少、労働人口の減少
- h 企業の生産拠点の海外移転
- i 食品や木材の輸入品の増加

#### 《強みで追い風を活かす課題》

[重要課題]観光交流の促進(地域の魅力の発信)(1,4,5,6,7,a,c,e)

#### 《弱みを踏まえ追い風を活かす課題》

[重要課題]移住の推進(9,10,11,c)  
 ・医療・高齢者支援の充実(12,13,14,c,d)  
 ・紀伊半島アンカールートの早期整備(8,9,14,b,c,f)  
 ・公共交通の確保(13,c,d)  
 [重要課題]住民が安心して暮らせる基盤整備(13,14,b,c,f)

#### 《強みで向かい風を克服する課題》

[重要課題]地域資源の活用(地域の魅力の発見、創造)(1,2,3,4,7,g,i)

#### 《弱みを踏まえ向かい風に備える課題》

[重要課題]企業立地の促進(8,g,h)  
 ・農林業等地域産業の振興(11,g,i)

## 6. 平成30年度の評価及び令和元年度の取組等を踏まえた、令和2年度以降の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
観光交流の促進(地域の魅力の発信)	奥大和地域の特色を活かしたスポーツ、音楽、芸術イベントの開催や大手旅行誌、鉄道会社と連携したプロモーションの結果、近年の南部東部地域の交流人口(観光入込客数)が増加していることから、南部地域・東部地域活性化イベントの開催や、奥大和の情報発信、地域資源を活かしたスポーツや各種イベント等を更に充実させ、観光交流のさらなる促進に取り組めます。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
移住の推進	近年、都市部における「田園回帰」の機運の高まりもあり、移住者アンケートの回答において20代、30代の世帯が半数以上を占めたり、空き家を改修したシェアハウスにおいて、若いクリエイターやデザイナーを中心に利用が広がるなどしていることから、今後も手に職を持つ若者等を主なターゲットに移住相談や移住促進施設の整備などの支援を進めていきます。
住民が安心して暮らせる基盤整備	道路防災対策及び土砂災害対策の推進により、災害時の安心・安全の確保を進めてきましたが、今後はさらに県内外からの支援を受け入れて、迅速に対応できる大規模広域防災拠点の整備に向けた取組を推進していきます。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
地域資源の活用(地域の魅力の発見、創造)	南部・東部地域の豊かな自然環境や森林資源を生かした、「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ等の整備や、奈良県植栽計画に基づく整備により、地域資源の活用を進めてきました。今後も、それらの地域資源を活かしたスポーツや各種イベント等の開催や支援を通じ、さらなる地域の魅力の発見や創造に取り組んでいきます。

## 7. 平成30年度の評価及び令和元年度の取組等を踏まえ、令和2年度以降に見直す内容

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
企業立地の促進	基幹産業である農林業の生産額、従事者数等の減少に伴い、雇用の場の創出が課題となっています。京奈和自動車道御所IC周辺の新たな産業用地の造成や五條北IC周辺で分譲中の工業団地、また、郡山下ツ道JCT供用開始により、利便性がさらに高まってきた名阪国道周辺等において南部・東部地域への企業立地の促進を進めていきます。